

社会福祉法人春献美会 はるひ野保育園 令和4年度事業計画

はるひ野の自然に囲まれた環境を生かして、太陽・水・土にたくさん触れて伸びやかに遊び育つよう保育します。

新型コロナウイルス対策をしながらの保育が続いています。その中で日々の活動や行事など、子どもたちの成長と経験を保障しながら、工夫して行っていく努力をしていきたいと思ひます。またアプリ導入でさらに使用する機能を増やし、保護者にとっても保育園にとってもより便利で、わかりやすく保育を伝えていくことに力を入れていきたいと思ひます。地域の交流はコロナ禍の中で難しさを感じていますが、土曜日園庭開放等、昨年度好評だった取り組みを更に充実させて、工夫しながら行っていくと思ひます。また、職員が学び合い、保育の質を高め合うことが出来るよう園内研修の充実や、キャリアパス計画を基に研修受講など、学ぶ機会を多く持てるようにしていきます。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	常勤保育士数	園児数	備考
らっこ	0歳	4	8	
かに	1歳	3	17	
ぺんぎん	2歳	4	18	
あしか	3歳	2	22	
いるか	4歳	1	21	
くじら	5歳	1	24	
とまと		1		
フリー		4		
合計		20	110	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	22	26	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止

[4] 健康増進と保健指導

[5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	全園児（年2回）0・1歳児（年6回）
歯科健診	全園児（年1回）

エ 保育方針

- ・あたたかい見守りの中で心地よく過ごせる環境を提供していく。
- ・ひとりひとりの良さを伸ばせるように育ちを援助していく。
- ・家庭との連携を密にして信頼関係を作り、子育ての楽しさを共感しあう。
- ・地域・保育園・家庭が支えあって子育ての輪を広げていく。

オ 各組の保育目標

くじら組(5歳児)の年間目標

- ・生活や遊びを通して仲間と共にひとつの目標に向かい、協力して活動する中で、達成感や充実感を味わう。

いるか組(4歳児)の年間目標

- ・友だちと一緒に遊ぶことに喜びを持ち、つながりが広がり集団としての行動が出来るようになる。

あしか組(3歳児)の年間目標

- ・保護者や友だちと遊び、関わりの中で自分の要求や主張を言葉や行動で表現する。
- ・基本的な生活習慣が身につく。

ペンギん組(2歳児)の年間目標

- ・衛生的で安全な環境で自己主張し、心身共に快適な生活を送る。

かに組(1歳児)の年間目標

- ・安心できる保育士や環境の下で、自分でしようとする意欲が芽生え、好きな玩具や遊具に興味を示し、じっくりと遊びを楽しむ。
- ・保育士や友だちに関心を持ち、真似をしたり自ら関わろうとする。また、言葉のやりと

りを楽しむ。

らっこ組(0歳児)の年間目標

- ・生活のリズムが整い、保育者に愛着を持って接してもらいながら、安定した生活を送ると共に、基本的な生活習慣を養う。
- ・離乳が完了し、色々な食材に出会い食べることに意欲を持つ。

カ 主な行事予定
別途添付

キ 食事

[1] 目標『しっかり食べる子』に育てる。

配慮事項・自然の味を大切にする。

- ・旬の素材を使った献立作りを心がける。
- ・安全で安心なおいしい食事づくりを心がける。
- ・保護者との連携を密にする。

[2] 食育

毎月 月 ー 予定献立表の配布をする。

給食だより ー はるひ野保育園の食事の紹介や栄養情報・献立表などをまとめ、月1回発行する。

食を考える ー 必要に応じて行われる給食会議にて、献立や提供された食事の感想や反省、改善案などを出し合いよりおいしい食事作りに取り組む。

展示 食 ー 玄関ホールにその日の給食の見本を展示する。

[3] 衛生管理

○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認している。

○調理人の細菌検査(毎月2回)

○調理室・乳児調乳室の掃除、記帳室、ワゴン清掃、冷蔵庫消毒(毎日)食器は洗浄後熱風庫にて保管。

○原材料・調理済み食品の保存をしていく。(2週間)

[4] 離乳食に関して

個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、完了食後、発達に合わせて個々に対応していく。アレルギー児の「食物除去食対応」も川崎市の対応マニュアルを基に、それぞれの子どもの症状により対応していく。

<離乳食の進め方>

① 子どもの状態にふさわしい形で提供し、手づかみ食べを十分に促していく。

また、よく噛んで食べられるようにしていく。

- ② 離乳食で初めて提供する食材は、まず家庭で試してもらったうえでメニューに入れていく。
- ③ 離乳食の段階に合わせて調理の仕方や味付けのバリエーションを増やしていく。

ク 安全管理

非常災害時の避難訓練、消火訓練（毎月）

通報訓練の実施（年1回）

（2）職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
保育士	14名
保育補助	3名
調理員	3名（栄養士含む）
看護師	1名
事務員	1名
嘱託医	1名（非常勤）
非常勤、パート	10名

イ 健康管理

健康診断 1年 1回

細菌検査 毎月（調理従事者のみ 10月～3月は月2回）

ウ 職員会議

- ・職員全体会議毎月1回
- ・幼児会議毎月1回
- ・乳児会議毎月1回
- ・クラス会議随時
- ・給食会議毎月1回
- ・リーダー会議随時

エ 研修計画

別途添付

オ 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・川崎市勤労者福祉共済加入
- ・整体

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

(3) 備品関係

ア 備品購入予定

(4) 災害対策

ア 避難訓練、消火訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

○（全児童数＋全職員数）×3食×3日分

3 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 個人面談

保護者の希望に合わせて個人面談を実施する。担任以外にも専門職等、様々な希望に対応していく。

保護者参加行事として夏祭り・運動会・発表会を行う。

イ 保護者会

年2回予定

ウ お知らせ

- ・園だより毎月1回発行
- ・クラスだより随時発行
- ・保健だより毎月1回発行
- ・給食だより毎月1回発行

4 地域社会との連携

《地域支援センター》

- ・親子が気軽に「屋根のある公園」のように集える場とする。
- ・感染防止対策を十分に行い、地域の親子が気軽に来所できる場とする。
- ・感染症の状況をみながら、園庭利用、行事参加を再び呼びかけていく。
- ・地域の親子が家庭内で孤立することのないよう、来所を促していくと共に育児に関する相談も丁寧に受けていく。

《世代間交流》

- ・感染症状況をみながら、地域の小学校・中学校・高等学校と連携を持ち、職業インタビュー・ボランティア・職業体験・インターンシップを積極的に受け入れる。
- ・地域の老人施設と園児が交流する。

《情報提供収集による支援》

- ・地域支援センター便り（地域支援センタートライアングル・ハグからの便り）や、各情報を掲示板に貼り出し、子育て中の親子に提供する。
- ・園外（地域など）から意見も取り入れられるように町内会に加入し、情報把握や提供を行っていく。また、民生委員や保健福祉センターとの連携も図っていく。

《園内活動への参加》

- ・感染状況をみながら、園で主催する土曜日園庭開放・移動動物園で、地域の親子に来園してもらい、交流を図るとともに、子育てからのリフレッシュを図る。

5 その他